

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

色水遊びの工夫 その2 / 学校法人長尾学園 長尾幼稚園

様々な感覚が、大人には及ばないほど鋭く働く子どもたち。音、匂い、味、感触、色などの変化は、遊びを楽しみ体験が豊かになる要因の一つになります。今回は、前回に引き続き「色」に注目し、子どもたちが展開した遊びをご紹介します。



● 染めるって楽しい！ / 5歳児

1. 色が混ざったり、変わったりする体験

- 「マジックは、違う色を上から描いたら**色が混ざる**」と気づき楽しむ。
- クレパスも混ざることに気付く。
- コマは、回すと**色が変わる**。

2. 色水遊びで色が混ざる体験

- いろいろな色水ができた。
混ぜてみよう！
- 色水を混ぜると、色が変わる！
- **混ぜるとどんな色になるのかな？やってみよう！**



3. 新たな発想「染色と混色」

- 紙に色を付けたらどうなるかな？混ざるかな？



4. いろいろな発見

- 色が混ざった。
- 不思議な色になった。
- 色が混ざると黒っぽくなる

- 同じ色なのに、紙には違う色が出てくる。
- コーヒーフィルターの色、面白い。

✦ ポイント

子どもたちは遊びながら、物や事象の特徴・変化に注目していることが分かります。この事例では、子ども自身がものに関わり気付いたことを楽しむ遊びが展開することで、多くの学びを体験しています。子どもたちが、色水の遊び方や環境を考え出し展開できるように、保育者が子どもの言葉から興味や探求を読み取り援助することにより「科学する心」が育まれます。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」